

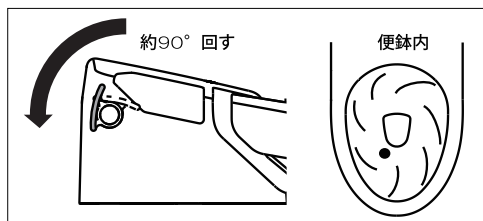
# サティス・レジオ・センサー大便器の停電断水時の便器洗浄方法

- ① サティス DV-118A 型、DV-118A-R 型、DV-117A 型、DV-117A-R 型、DV-116A 型、DV-116A-R 型、DV-115A 型、DV-115A-R 型（代表品番）の場合

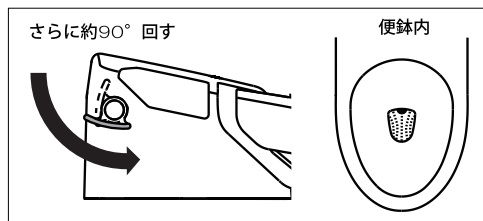
## 停電したときの便器洗浄のしかた

停電したときには、リモコンで便器内洗浄が行えません。  
以下の要領で洗浄してください。

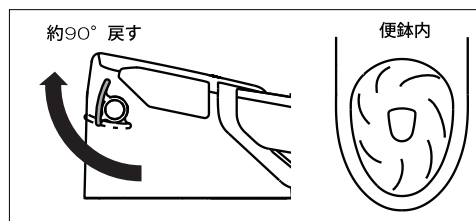
1. 洗浄ハンドルを奥に約90°回します。  
便鉢周りから水が流れて、汚物を便鉢底へ洗い落とします。



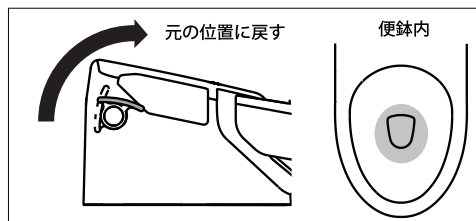
2. 汚物が底に落ちたら、さらに約90°回します。  
便鉢底から水が流れて、汚物を排出します。



3. 洗浄ハンドルを約90°戻し保持します。  
便鉢周りから水が流れて、便鉢底に水が溜まります。



4. 便鉢底に水が溜まったら、元の位置に戻します。  
水が止まります。  
※洗浄後は必ずハンドルを元の位置に戻してください。（水が流れっぱなしになる場合があります）



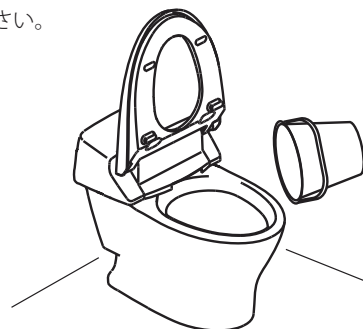
（参考）バケツに水を入れ、直接便鉢に水を流しても、汚物を流すことはできます。

## 断水したときの便器洗浄のしかた

バケツ1杯（5～6L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。  
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。  
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように3～4Lの水を注いでください。  
（小洗浄も同じように流してください。）

### 注意

- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれない様に十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。

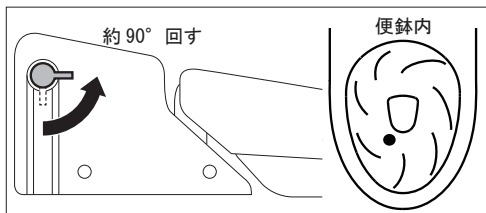


② サティス DV-218G 型、DV-217G 型、DV-216G 型、DV-215G 型、  
DV-318G 型、DV-317G 型、DV-316G 型、DV-315G 型、  
DV-314G 型（代表品番）の場合

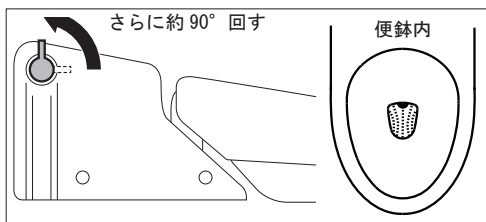
### 停電したときの便器洗浄のしかた

停電したときには、リモコンで便器内洗浄が行えません。  
以下の要領で洗浄してください。

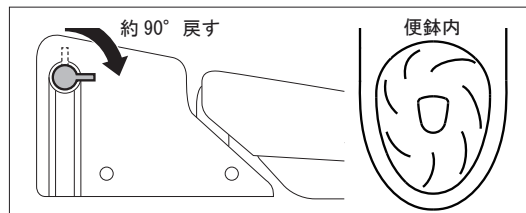
1. 洗浄ハンドルを手前に約90° 回し保持します。  
便鉢周りから水が流れて、汚物を便鉢底へ洗い  
落とします。



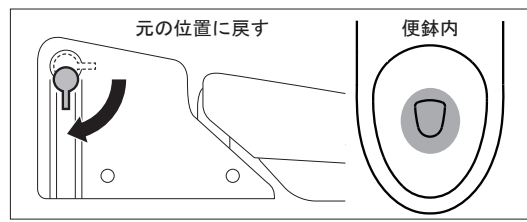
2. 汚物が底に落ちたら、さらに約90° 回し保持  
します。  
便鉢底から水が流れて、汚物を排出します。



3. 洗浄ハンドルを約90° 戻し保持します。  
便鉢周りから水が流れて、便鉢底に水が溜まります。



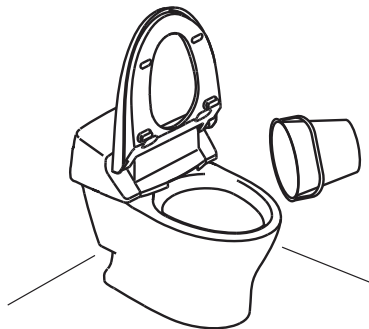
4. 便鉢底に水が溜まったら、元の位置に戻します。  
水が止まります。  
※洗浄後は必ずハンドルを元の位置に戻してくだ  
さい。（水が流れればなしになる場合があります）



（参考）バケツに水を入れ、直接便鉢に水を流しても、汚物を流すことはできます。

### 断水したときの便器洗浄のしかた

バケツ1杯（5～6 L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。  
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。  
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように3～4 Lの水を注いでください。  
（小洗浄も同じように流してください。）



**注意**

- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれない様に十分ご注意ください。
- コンセント部分に水がかからないようご注意ください。

③ サティス DV-S428 型、DV-S427 型、DV-S426 型、  
DV-S425 型、DV-S424 型、DV-S418 型、  
DV-S417 型、DV-S416 型、DV-S415 型、  
DV-S414 型（代表品番）の場合

リフレッシュ DWV-SA18E 型、DWV-SA16 型、DWV-SA15 型  
サティス DWV-SB18E 型、DWV-SB16 型、  
DWV-SB15 型（代表品番）の場合

### 停電・断水したときの便器洗浄のしかた

バケツ 1 杯（5～6 L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。  
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3～4 L の水を注いでください。  
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。  
（小洗浄も同じように流してください。）



#### 注意

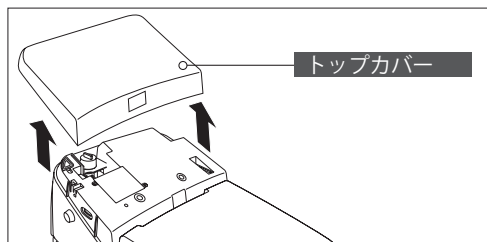
- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すとき等、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようご注意ください。

#### ④ レジオ DV-R115 型 (代表品番) の場合

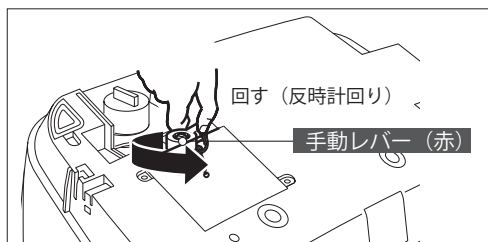
### 停電したときの便器洗浄のしかた

停電したときには、リモコンで便器内洗浄が行えません。  
以下の要領で洗浄してください。

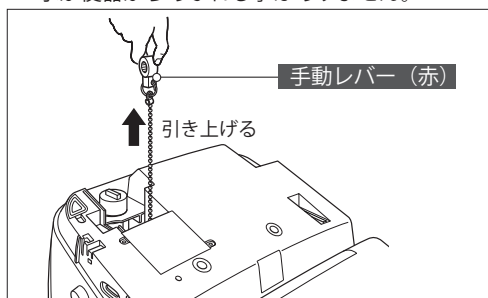
1. トップカバーを外します。



2. 手動レバー (赤) を反時計回りに約180° 回し、10秒以上通水を行います。  
※水が便器からあふれる事はありません。

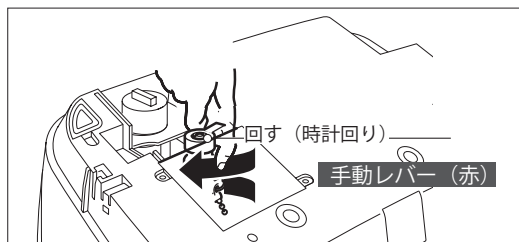


3. 手動レバー (赤) を外し、素早く引き上げ、約5秒間保持します。  
※水が便器からあふれる事はありません。

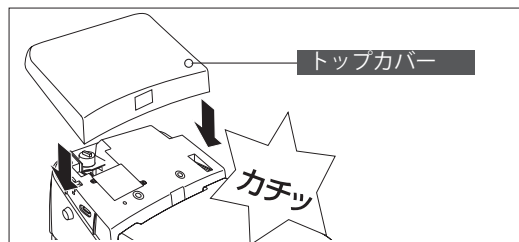


(参考) バケツに水を入れ、直接便鉢に水を流しても、汚物を流すことはできます。

4. 手動レバー (赤) を元の位置に戻し、時計回りに約180° 回し、通水を止めます。  
※ 便鉢への通水が止まったことを確認してください。



5. トップカバーを元に戻します。  
※ 取付後、しっかりはまっていることを確認してください。



### 断水したときの便器洗浄のしかた

バケツ1杯 (5~6 L) の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。  
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く (短時間に一気に) して、再度行ってください。  
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように3~4 Lの水を注いでください。  
(小洗浄も同じように流してください。)

#### 注意

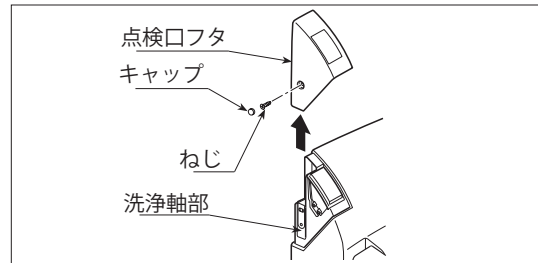
- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すとき等、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。

## ⑤ センサー大便器 DV-156 型、DV-155 型、DV-151 型 (代表品番) の場合

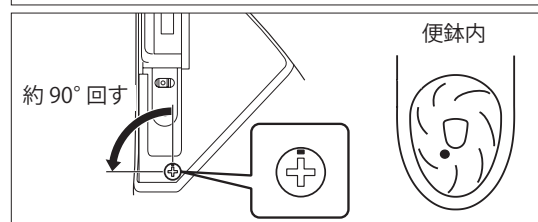
### 停電したときの便器洗浄のしかた

停電したときには、リモコンで便器内洗浄が行えません。  
以下の要領で洗浄してください。

1. 点検口フタのキャップとねじ 1 本を外し、持ち上げるようにして点検口フタを外します。



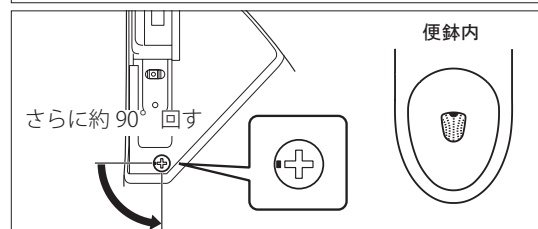
2. 点検口の洗浄軸部を反時計回りに約 90° 回し保持します。便鉢周りから水が流れて、汚物を便鉢底へ洗い落とします。



**注意**

逆に回さないでください。  
破損します。

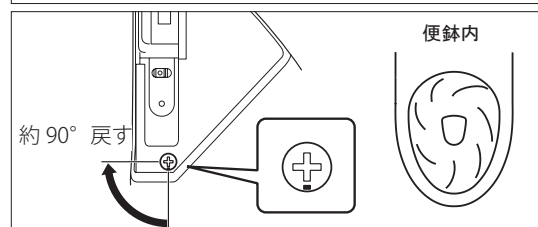
3. 汚物が底に落ちたら、さらに約 90° 回し保持します。便鉢底から水が流れて、汚物を排出します。



**注意**

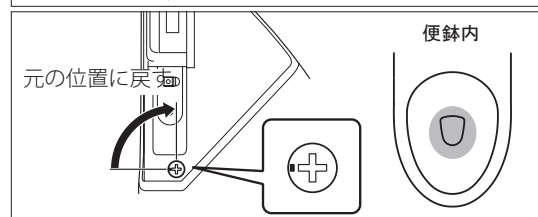
逆に回さないでください。  
破損します。

4. 洗浄軸部を約 90° 戻し保持します。便鉢周りから水が流れて、便鉢底に水が溜まります。



5. 便鉢底に水が溜まったら、元の位置に戻します。水が止まります。

※ 洗浄後は必ずハンドルを元の位置に戻してください。  
(水が流れっ放しになります)



6. 点検口フタを取付け、ねじで固定します。

**参考** バケツに水を入れ、直接便鉢に水を流しても、汚物を流すことはできます。

### 断水したときの便器洗浄のしかた

バケツ 1 杯 (5 ~ 6 L) の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。  
※ うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く (短時間に一気に) して、再度行ってください。  
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3 ~ 4 L の水を注いでください。  
(小洗浄も同じように流してください。)

**注意**

- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すとき等、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。